

美濃加茂市社会福祉協議会では、各地区で高齢者が社会参加できるようにと、「ふれあい・いきいきサロン」などの活動に取り組んでいます。高齢化率の高い三和地区の活動について、伺いました。



お話：市社会福祉協議会  
三和支部長  
木澤 元（はじむ）さん

三和地区は、人口が減少して高齢化が進んでいます。統計的に見ると、65歳以上の人が211人（注）6月1日現在）で、人口の3割近くを占めるようになっています。

市全体から見ると、かなり高い割合だと思っています。そのうち、独り暮らしのお年寄りは16人みえますが、皆さん健康で元気な人

ばかりです。

私たちは、こうした高齢化率の高い地域で、互いに支え合い、住み良いまちにするために何をすればいいのか考えながら活動しています。

ほかの地域でも、高齢化に向けた取り組みはされていますが、社協三和支部では特に次の活動に力を入れています。

## 会話が弾む。笑いがある。 だから、元気です。



「ふれあい下甘屋サロン」

独りでも、「笑い」に会える場所。  
「ふれあい・いきいきサロン」

三和地区の高齢化問題の取り組みについて、力を入れている事業に、「ふれあい・いきいきサロン」（以下いきいきサロン）活動の推進があります。

このいきいきサロンは、日ごろ外出する機会が少ない高齢者が、いつまでも健康で生き生きと生活されることを願って開設しています。

現在、「上甘屋いきいきサロン」など5カ所で開設しています。三和地区には10の自治会がありますが、そのうち9自治会がこのサロンを開設したことになります。（注）

最初は、運営方法など手探りの状態でしたが、市社会福祉協議会の助言や地元自治会の皆さんの熱意により、まず、平成15年4月に「里いきいきクラブ」（中甘屋自治会）を開設することができました。

はじめ遠慮がちに参加されていた人たちが、気の合った仲間ができることにより、月1回のいきいきサロンが楽しみになられたようです。

（注）5自治会で、1サロン開設しているため